

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 3週毎 TRA + Eribulin 療法
疾患名	乳癌
診療科名	乳腺・甲状腺外科
登録医師名	野村 長久

臨床区分
<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input checked="" type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2013年11月1日
1クール期間	21日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	day8	-	-	-	-	-	-		-
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) 初回投与時のみ8mg/kg (2回目以降6mg/kg) ※初回投与の忍容性が良好であれば、投与時間30minまで短縮可能
	トラスチマブ BS点滴静注用	8	mg/kg															
3	グラニセトロン点滴静注液3mgバック	1	袋	点滴静注	側管	30min	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	
	デキサメトゾン注射液 6.6mg	1	瓶															
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	※0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと 〔輸液量：変更可（例：生理食塩液30mL）〕 ※全開で投与（2～5分：10分以内なら可）
	ハラヴェン静注	1.4	mg/m ²															
5																		

備考欄

文献
1898:Breast Cancer-Early and Advanced Disease:Breast Cancer-Advanced Disease
A phase I combination study of eribulin mesylate with trastuzumab for advanced or recurrent human epidermal growth factor receptor 2-positive (HER2+) breast cancer

減量・中止基準

【投与開始基準】
下記の基準を満たさない場合は投与を延期
・好中球数1000/mm³以上
・血小板数：75000/mm³以上
・非血液毒性：Grade2以下

【減量基準】
前コースにおいて以下の副作用などが発現した場合、減量した上で投与する
・7日間を超えて継続する好中球数減少（500/mm³未満）
・発熱または感染を伴う好中球減少（1000/mm³未満）
・PLT<25000mm³
・輸血を要する血小板減少（PLT<50000/mm³）
・Grade3以上の非血液毒性

【減量の目安】
通常投与量：1.4mg/m²、1段階減量：1.1mg/m²、2段階減量：0.7mg/m²

【腎機能低下症例に対する減量の目安】
Ccr>50：1.4mg/m²
15<Ccr<49：1.1mg/m²

【肝機能低下例に対する減量の目安】